

南あわじ市 介護予防・日常生活支援事業に関するQ&A【H30.1.16版】

No.	種別	質問事項	回答
1	共通	介護予防日常生活支援総合事業第1号訪問（通所）事業（介護予防訪問（通所）介護相当）でみなし指定を受けています。指定期間（3月31日まで）以降も総合事業のサービスを実施する場合は指定の更新を受ける必要がありますか。	みなし指定が平成30年3月31日で終了しますので、継続してサービスを実施する場合には、市の指定を受けていただく必要があります。
2	訪問	身体介護を必要とするものであれば基準型訪問サービスで生活援助を提供できますか。	生活援助の提供の基準については、説明会で配布させていただきましたチェックシートのとおりとなっております。身体介護が必要であって基準型訪問サービスを使う方でも、それだけを理由に生活支援サービスを使うことは出来ません。
3	訪問	基準緩和型訪問サービスの指定申請開始時期はいつですか。	平成30年2月1日を目標に準備を進めております。詳細は追って連絡させていただきます。
4	訪問	身体介護が必要な方とは、清拭・入浴介助など直接身体に触れる場合のみの事ですか。	身体介助と生活援助の別については、「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について（老計第10号 平成12年3月17日）」のとおりとします。
5	訪問	共に行う買い物、掃除、調理などの生活支援も身体介護に含まれますか。	
6	訪問	直接身体に触れる行為のみが身体介護ならば、支援ではなく介護の方と認定されるのが普通ではないでしょうか。	
7	訪問	（要介護と）同じ身体介護をして単位が大きく違うならば進んで出来ないのではないのでしょうか。 例 要介護312 要支援266 差額46単位	基準型訪問サービスによる身体介護の単価については従来の予防訪問介護の単価と同じであり、国の定める上限単価となっております。
8	訪問	実際、支援の方で入浴介助・入浴見守り・清拭させてもらっていますが、ケアマネには口頭のみでプランには入っていないことがあります、その場合はどうなりますか。	ケアマジャーと協議の上、必要があればプランに記載し、基準型訪問サービスの利用へつなげていただきますようお願いいたします。
9	訪問	4月のサービスから総合事業に全てが変わるならば、3月の時点でサービスの見直し、ケアプランを作成・計画書作成してないと遅いのではないですか。	ご意見のとおりです。
10	訪問	緩和型になりますといわれても、事業所としては単位下げられてしんどいだけだと思いますか。	総合事業については人員配置基準等を現行サービスのものより緩和することの対価として、現行サービスよりも低い単価で設定することが趣旨となっております。
11	訪問	5月の請求時に新コード使用の請求開始ならば遅くとも3月末には出来ないと難しいのではないのでしょうか。	コードにつきましては2月～3月中に国保連への登録を行う予定です。

南あわじ市 介護予防・日常生活支援事業に関するQ&A【H30.1.16版】

No.	種別	質問事項	回答
12	訪問	1月に総合事業に関して利用者さんに周知のチラシを配布するとのことですが、理解していただけるためにどのような方法を検討していますか。	ケアマネジャー等の協力を得ながら、周知を図る予定としています。
13	訪問	緩和型のサービスを行いたいという新しい申請はどの程度ありますか。	平成30年2月より申請を開始し、どの事業所で緩和型サービスが使えるのかは別途公表させていただきます。
14	通所	南あわじ市が目指す自立支援の方向性と取り組みについて教えてください。	市の方向性については整理出来次第お示しする予定です。
15	通所	何をもって自立支援に取り組んだと評価をしますか。	評価の基準については、現在検討を行っております。
16	通所	南あわじ市以外の事業所のサービス利用が可能でしょうか。	南あわじ市が指定を行えば市外事業所の利用も可能と考えております。
17	通所	通所介護の利用算定についてサービス時間によって単価は変わりますか。	時間別の単価設定は予定しておりません。
18	通所	訪問介護事業所への計画書作成・目標設定にリハ職が指導を行なった場合には指導を行った事業所にも報酬はありますか。	現時点では考えておりません。
19	通所	通所介護事業所に外部連携を行った場合の加算については事業所内にリハ職が在籍している場合にはどのようになりますか。	総合事業においては、現時点では考えておりません。
20	通所	介護認定が支援、若しくは自立となる利用者を地域の場に参画を促す、もしくはつなげていくことができた場合のインセンティブはありますか。	今後検討していく予定としております。
21	通所	発症（退院）から半年以内の利用者に対する集中的なサービス利用とアセスメント（短期集中C型）の活用などは検討を行なっていますか。	今後検討していく予定としております。
22	他	ボランティア組織はどの程度できていますか。	住民主体の生活支援については現在、生活支援コーディネーターを中心に取り組み中です。仕組みが出来た地区などの情報については随時提供をさせていただきます予定としております。